

廃村大全



鹿児島県阿久根市本之牟礼

第77回
適塾路地奥
サロン

ふるさとをどう想うのか —無住化集落から見えてくるもの—

令和の世が進み、廃村が増えていくことは避けられないことのように思われる。限界集落が無住化集落（廃村）になったら、集落は終わりを迎えたと言えるのだろうか。その答えはふるさとを想う元住民が持っているのではないだろうか。大阪は私のふるさと。廃村と誰しもが持つふるさとへの想いを通して、より良いわが国の未来を考える一助としたい。

—浅原 昭生—



廃村専門家

講師 浅原 昭生 氏

昭和37年、大阪府堺市生まれ。埼玉県さいたま市在住。Team HEYANEKO代表、廃村専門家。昭和56年3月、角海浜(新潟県)で偶然廃村に出会う。平成11年10月より本格的な廃村の調査を開始し、以後28年の歳月をかけて調査した全国の廃村は1300か所を超える。離村した人びとの忘れゆく記憶の伝承者、消えゆく風景の記録者として、旺盛な調査活動を続けている。

令和8年 6月26日(金) 18:30~

参加費無料



会場：アルパック大阪事務所大会議室 及び オンライン配信
【会場】先着申込順10名程度 【オンライン】定員上限無

申込
方法

弊社HPもしくは下記URLの申込フォームから
6/23(火)までにお申し込み下さい。
QRコードよりフォームのURLの取得が可能です。
<https://forms.cloud.microsoft/r/NhKerH5H5C>

